

日交研シリーズ A-585

平成 24 年度自主研究プロジェクト

「大規模災害時における救援物資輸送のための交通管理に関する研究」

刊行：2013 年 11 月

大規模災害時における救援物資輸送のための交通管理に関する研究

The Study on the Traffic Control for Rescue Supply Transport at the Large Scale Disaster

主査：小早川 悟（日本大学理工学部教授）

Satoru KOBAYAKAWA

要 旨

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしたことは周知の事実である。本震災を含めこれまで大規模地震が発生する度に救援物資の輸送が行われてきたが、その輸送に関する問題が度々生じてきている。今回の東日本大震災においても救援物資が一次集積所には届けられても、その先の避難所までの物資の輸送が滞り、いわゆるラストワンマイルの救援物資の輸送問題が発生した。

これまでの研究では、仙台市と石巻市を対象に救援物資がどのように輸送されたかを明らかにするために、関係機関へのヒヤリング調査やアンケート調査を実施してきた。その結果、一次集積所が事前に決められていないといった問題や、避難所までの端末物流を担うべき担当部署がなく、それを補うための災害協定もほとんど締結されていないことが明らかとなった。

今年度のプロジェクトでは、これらの結果を踏まえ、①宮城県に到着した救援物資データの分析、②大規模災害時における事業継続計画（BCP）の分析、③大規模災害時における交通規制に関する分析についての検討をおこなった。そして、その結果を踏まえたうえで、道路状況を情報収集するためのシステムの作成や各避難所における必要物資を情報収集するためのシステムの作成の必要性を明らかにした。

キーワード：東日本大震災、救援物資輸送、事業継続計画（BCP）、大規模交通規制

Keywords : Tohoku Region Pacific Coast Earthquake, Rescue Supply Transport,

Business Continuous Plan (BCP), The Large Scale Traffic Control